

## 令和2年 鳥取市教育委員会 4月定例会 会議録

1 日 時 令和2年4月24日（金） 15時30分 から

2 場 所 鳥取市役所本庁舎 6階 第1会議室

### 3 出席者

教育長 : 尾室 高志

教育長職務代理者 : 藤井 喜臣

委員 : 石谷 充

委員 : 山脇 彰子

委員 : 畑 千鶴乃

〔事務局〕

副教育長 : 吉田 博幸

次長兼教育総務課長 : 中村 隆弘

次長兼学校教育課長 : 岸本 吉弘

生涯学習・スポーツ課長 : 中原 登

文化財課長 : 佐々木 敏彦 学校保健給食課長 : 山根 ちはる

中央図書館長 : 長本 次郎 教育センター所長 : 東田 重高

さじアストロパーク所長 : 山西 正博 学校教育課参事 : 田中 浩史

学校教育課参事 : 須崎 ひとみ

生涯学習・スポーツ課長補佐 : 小谷 昇一

教育総務課長補佐 : 入江 卓司

〔傍聴者〕 2名

### 4 会議次第

○行事報告及び行事予定について

〔教育総務課〕

#### 【説明・協議事項】

(1) 令和2年度鳥取市一般会計補正予算（4月補正）について

〔学校教育課〕

(2) 令和元年度鳥取市一般会計補正予算（3月専決補正）について

〔学校教育課、生涯学習・スポーツ課〕

(3) 学校計画訪問実施計画について

〔学校教育課〕

【報告事項】

- (1) 鳥取砂丘の滞在環境等の上質化に関する提言について [生涯学習・スポーツ課]  
(2) 新型コロナウイルス感染症への対応状況について [学校教育課]

【先回定例会の議事録】

【その他】

- (1) 次期定例教育委員会の開催について  
[5月] 令和2年5月25日(月) 13:30～ 鳥取市役所本庁舎6階 第5会議室  
[6月] 令和2年6月26日(金) 13:30～ 会場未定

## 5 会議概要

15時30分 開会  
尾室教育長 あいさつ

○行事報告及び行事予定について  
教育総務課長(資料に基づき説明する。)

【説明・協議事項】

- (1) 令和2年度鳥取市一般会計補正予算(4月補正)について  
学校教育課長(資料に基づき説明する。)

【質疑】

(山脇委員)

マスクやアルコール消毒液は購入する当てがあるのですか。

(学校教育課長)

当てはあります。揃い次第納入していただくことになっております。

(藤井委員)

今はまだマスクはないのですか。

(学校教育課長)

そうですね。これから入ってくる予定です。

(石谷委員)

先生方のマスクは配布されないのですか。

(学校教育課長)

布マスクですが、教職員用と児童生徒用に文部科学省から配られる予定です。

それとは別に現在、数箱ずつ各学校にマスクを配布していますが、それは緊急時に

保有していなかったり忘れていたりなどで切らしてしまったときのためのものです。  
数としてはあまり多くはありません。

- (2) 令和元年度鳥取市一般会計補正予算（3月専決補正）について  
学校教育課長、生涯学習・スポーツ課長（資料に基づき説明する。）

- (3) 学校計画訪問実施計画について  
学校教育課長（資料に基づき説明する。）

【質疑】

(藤井委員)

現在全国に緊急事態宣言が出ていて、5月6日以降どうなるかわからない状況ですよ。今の状況で5月7日以降に学校が再開になって、注意を払いながら学校を運営している中なら学校計画訪問を実施するという認識でよろしいですか。

(学校教育課長)

はい。基本的には学校計画訪問をしていきたいという前提で提案させていただいております。

(藤井委員)

今後また動きがあつて休校等になった場合は、それに合わせた対応をされるという理解でよろしいですね。

(学校教育課長)

そうですね。柔軟に対応していかなければならないと思っています。

(石谷委員)

訪問対象になっているのは新任の校長先生がおられる学校でしょうか。

(学校教育課長)

いえ、そういうわけではありません。年度ごとに該当校の計画を立てています。

【報告事項】

- (1) 鳥取砂丘の滞在環境等の上質化に関する提言について  
生涯学習・スポーツ課長（資料に基づき説明する。）

【質疑】

(藤井委員)

これは今のままの施設を存続すると決めたわけではなく、改築も含めて検討をするということ Understandingすればよろしいですよ。

(生涯学習・スポーツ課長)

はい。そうです。

(2) 新型コロナウイルス感染症への対応状況について

吉田副教育長（資料に基づき説明する。）

【質疑】

(山脇委員)

例えばですが、シングルマザーの方が感染した場合子どもさんの対応はどうされるのですか。

(藤井委員)

今回の県の予算で、シングルマザーの方が陽性になった場合、保育園の子どもを預かるというような予算を組んでいるそうです。しかし実際そういう方が出たときにどこで預かるのかなどは県が市町村と調整して行いますという予算なので、実際のケースが出てこないと預かる施設があるかどうか、夜はどうするかなど非常に難しいですよ。実際のケースが出てから考えざるを得ないですが、そういった予算はあります。

(山脇委員)

ただそういったことが絶対ないとは言えないので、そういった事態になった際に、ケース1として一時預かりをするなど、市としての考え方をある程度決めておいてケースバイケースで対応していかれる方がいいのかなと思いました。

(吉田副教育長)

考えていかなければいけないですね。

(藤井委員)

施設利用についてですが、制度を考えないと5月6日になったらどの施設も利用可能になることもどうなのかと思います。新型コロナウイルス感染症が5月7日以降に終束するわけではなく、おそらく長期化しますよね。そうすると屋内施設などでも制度問題があると思います。

(生涯学習・スポーツ課長)

そうですね。研究しつつ状況等を踏まえながら検討していこうと思います。

(石谷委員)

市が今年始められる共通学力調査はどうされるのですか。

(学校教育課長)

実施予定にはしております。今のところ延期というかたちです。

(石谷委員)

4月27日からまた休校になるということで、気になるのは学力保障の面ですね。学校が休みでも教育は休みではないわけですし、学習の機会が減らないようにしないといけませんよね。先生方にとっても無駄なことがないか等、勉強をされるいい機会かもしれないのでそのように捉えていただきたいと思います。大阪市ではYouTubeに先生方が自作自演の授業をして配信することを始めたそうです。鳥取県の高校でもオンライン授業を始めたと聞きました。国からのタブレットの支援というのは前倒しになら

ないのですか。子どもたちのために、教育委員会も具体的な手立てを考えていかないといけないと思っております。

(吉田副教育長)

ありがとうございます。おっしゃる通り学力保障については大きな課題でして、この度の休校についてはプリント学習が中心になりますが、それに加えて「すらら」という学習支援システムがありまして、そのアカウントを提供して、家でも使える場合はやってみましょうというようなことを進めております。家庭によっては環境が整っていない場合もあるので、学校にあるタブレットと Wi-Fi のポータブルのものを合わせて子どもたちに貸し出すことができないかと研究しているところです。

国はタブレット 1 人 1 台の計画を前倒しするというようなことも言っておりますので、それについても教育委員会として前向きに対応していきたいと考えております。

(畑委員)

放課後児童クラブについてですが、臨時休校になったこととテレワーク等が進められていることによって、利用者は減少したのでしょうか。また、放課後児童クラブを利用する際にできる限り 3 密の状態を避けるために、学校のスペースを活用して子ども達が過ごす空間が広々ととれるようにできればと思います。

(学校教育課長)

前回の 3 月 2 日からの休校の際には、放課後児童クラブの利用者数は 4 割から 5 割ほどに減少しているという状況です。学校のスペースの利用については、3 密の状態をできる限り回避するために必要なことだと思いますので、学校とも協力して使い方を検討したいと思っておりますし、学校への通知もすでに出しております。

(畑委員)

放課後児童クラブは 3 密の状態が懸念されますので、それをクリアするためにできるだけ学校の空間を使用することで凌ぐ対応をしていくことが具体的に必要ではないかと思います。

(山脇委員)

いろいろな学校のホームページを拝見していますが、コロナウイルス感染症の対策や対応が掲載されている学校があまりないようです。プリント配布等で周知をしているのだとは思いますが、ホームページは情報発信も情報収集も行いやすいアイテムなのでもっと使用するようには教育委員会としても言ったほうがいいのかなと思います。

(尾室教育長)

そうですね、学校の方にも促していきます。

(学校教育課長)

ホームページでの情報発信についても工夫するようにはしていきたいと思います。

【先回定例会の議事録】

【その他】

(1) 次期委員会の開催について

[5月] 令和2年5月25日(月) 13:30 ～ 鳥取市役所本庁舎6階 第5会議室

[6月] 令和2年6月26日(金) 13:30 ～

教育長 以上で4月定例教育委員会を終了します。

閉会 16時55分